

当院の体制について

1. 地域医療支援病院について
当院は平成23年4月1日付で福岡県から地域医療支援病院の承認を受けています。地域の医療機関からより詳しい検査や専門的な医療が必要と判断された方に対して適切な医療を提供します。
2. 入院基本料について
当院では、(日勤、夜勤あわせて)入院患者7人に対して1人以上の看護職員を配置しております。また入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。
3. DPC対象病院について
当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせるDPC対象病院です。
医療機関別係数 1.5755
(基礎係数1.0718 + 機能評価係数Ⅰ0.3868 + 機能評価係数Ⅱ0.0927+救急補正係数0.0242)
4. 明細書発行体制について
当院では領収証をお渡しする際、計算の基礎となった項目(薬剤名や検査名)を記載した明細書を、全ての患者さんへ無料で発行しています。代理の方がお支払いされる場合の代理人へのお渡しも含めて、明細書が必要でない方はお申し出ください。
5. オンライン資格確認について
当院ではオンライン資格確認を行う体制を有しています。それにより取得した受診歴、薬剤情報、特定健診などの診療情報を活用して診療を行っています。
6. ハイリスク分娩管理加算に係る人員配置と年間分娩件数について
当院では常勤の産婦人科医11名、助産師22名を配置しております。
令和7年1月から令和7年12月までの分娩件数は424件です。
7. 医療安全対策について
当院では医療事故防止対策、院内感染防止対策を含めた医療安全の意識向上、安全文化の構築を目的として医療安全推進室を設置しており、職員への教育・指導を行っております。また、事故防止のために患者さんにご協力をお願いすることがありますので、よろしくお願いいたします。
8. 感染防止対策について
感染防止対策は、良質・適切な医療提供の基盤となるものです。当院は感染防止対策を病院全体として取組み感染対策チーム(ICT)が院内全ての方を対象として、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応に努めております。
9. 歯科診療にかかる体制について
当院歯科では、患者さんの偶発症に対する緊急時には速やかに救急科と連携をとり、適切な対応に努めます。また、自動体外式除細動器(AED)を院内に保有しています。院内感染防止については院内感染対策室を設置しており、歯科診療における感染防止に取り組んでいます。患者さんにとってより安心して安全な歯科治療の提供を行っています。
10. 敷地内禁煙について
当院では、健康への影響と防災の面から周辺の道路も含めて敷地内禁煙となっています。
敷地内は高濃度の酸素などが配管されているため、喫煙は固くお断りします。
11. 入院時の食事について
当院では、入院時食事療養(I)の届出を行っており、管理栄養士によって管理された食事を適時(夕方については午後6時以降)適温で提供しています。
12. 医師の負担の軽減及び処遇の改善に関する取り組み
当院は、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善として、医師事務作業補助者(メディカルアシスタント)による外来診療補助や病棟回診補助、多職種との業務分担(初診時の予診や入院・検査の説明など)に取り組んでいます。
13. 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する取り組み
当院は、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善として、看護職員と他職種との業務分担、看護補助者の配置、短時間正規雇用の活用、妊娠・子育て中・介護中の看護職員に対する配慮、夜勤負担の軽減などに取り組んでいます。
14. 栄養サポートチーム(NST)について
当院では、入院する患者さんの栄養状態を評価し、適切な栄養管理の推進を行っています。
患者さんが最適な栄養管理を受け、早期退院や社会復帰ができるように支援します。
15. 緩和ケアチームについて
当院では、がんと診断された患者さんとそのご家族の身体的・精神的・社会的苦痛などに対して、苦痛を緩和することを目的に適切な研修を修了した緩和ケアチームを組織しています。ご希望の方は総合相談センターまでお気軽にご相談ください。
16. アレルギー性鼻炎免疫療法について
当院では、アレルギー免疫療法を行っています。
17. 慢性維持透析を行っている方への下肢抹消動脈疾患に関するリスク評価について
当院で慢性維持透析を行っている全ての患者さんに対して上記の評価を行っており、必要に応じて院内の専門診療科(循環器内科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科など)と連携し治療する体制を有しています。
18. 院内トリアージの実施について
当院では夜間/休日又は深夜に受診される患者さんに対して、院内トリアージ基準に基づき医師又は看護師が患者さんの状態を評価し、緊急度区分に応じて診療の優先順位付けを行います。そのため診察の順番が前後する場合がございますが、ご了承ください。
19. 外来腫瘍化学療法診療料について
専任の医師、看護師又は薬剤師を院内に常時1人以上配置し、本診療料を算定している患者さんからのお電話等による緊急の相談等に24時間対応できる連絡体制を整えています。また、急変等の緊急時には入院できる体制を確保しております。なお、当院で実施される化学療法のレジメン(治療内容)の妥当性を評価し、承認する委員会(がん治療委員会)を定期(月1回)開催しております。
20. 後発医薬品について
当院では、患者さんの医療費負担軽減及び医療保険財政の改善のため、後発医薬品(ジェネリック医薬品)およびバイオ後続品を積極的に使用しています。昨今、医薬品供給が不安定な状況です。供給状況によっては投与する薬剤を変更するなど、治療計画の見直しを行い適切に対応します。薬剤の変更を行う際は医師・薬剤師よりご説明させていただきます。
ご不明な点などございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。
21. 一般名処方について
後発品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方(お薬の「商品名」ではなく「有効成分I」を処方箋に記載すること)を行う場合があります。そうすることで、供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者さんに必要なお薬が提供しやすくなります。

保険外併用療養費と保険外負担に関する事項について

以下につきましては、保険外併用療養費としてご負担いただくものです。

1. 初・再診時の選定療養費について

厚生労働省により保険医療機関の相互機能分担を目的として、一般病床400床以上の地域医療支援病院について、一定額以上の徴収が義務付けられました。当院は400床以上の地域医療支援病院に該当するため、令和4年10月1日以降、下記のとおり料金を徴収させていただきます（税込）。

- （医科） 初診時選定療養費 11,000円 再診時選定療養費 3,300円
- （歯科） 初診時選定療養費 5,500円 再診時選定療養費 2,200円

2. 入院期間が180日を超える入院に関する基準

患者さんの事情により長期に入院される場合、180日を超える日から、保険診療とは別に以下の金額を負担していただきます。ただし難病や重症の患者さんにつきましてはこの負担はありません。

選定療養（180日を超えた日から）1日につき 2,783円（税込）

3. 間歇スキャン式持続血糖測定器の使用について（診療報酬の算定方法に掲げる療養としての使用を除く）

- ・皮下グルコース測定用電極 7,700円（税込み）
- ・持続血糖測定器 7,700円（税込み）

以下につきましては、保険外負担としてご負担いただくものです。

1. ベッドサイド設備利用料について

全ての入院患者さんに床頭台・テレビ・冷蔵庫・セーフティボックス等の設備利用料として、1日あたり440円（税込）をご負担いただきます。なお、以下の患者さんからはベッドサイド設備利用料の徴収はいたしません。

- ・個室利用料（室料差額）をお支払いいただく患者さん
- ・ベッドサイド設備のない病室に入室される患者さん
- ・ICU、HCU、重症者等療養環境特別加算病床、観察室に入室される患者さん

2. 個室料等について（税込）

区分	使用料（1日）	病床数	病棟
特別室	33,000円	1	西入院棟8階
特別室	27,500円	1	西入院棟8階
A個室	16,500円	4	東入院棟5階・6階・西入院棟7階
B個室	14,300円	2	東入院棟7階
C個室	11,000円	87	各病棟
D個室	8,800円	30	北入院棟3階・4階・5階・6階
2床室	5,500円	20	北入院棟3階・5階・6階

※各病棟の部屋番号につきましては別紙ご参照ください

※助産を伴う入院は、消費税は課税されません。

3. 診断書・証明書について（税込）

種別	金額	種別	金額	種別	金額
普通診断書	3,300円	年金診断書	5,500円	生命保険診断書	8,800円
健康診断書	3,300円	身体障害者用診断書	5,500円	外国語診断書	11,000円

※文書種別の詳細につきましては別紙ご参照ください

- ・診断書や証明書等の郵送対応料金 500円
- ・産婦人科外来における子宮頸部細胞診などの検査結果郵送対応料金 500円

【診断書・証明書に関するお問合せ・お申込み先】

<外来患者さんの場合>

本館1階 ②番再診受付にお申し出ください。

<入院患者さんの場合>

ご入院されている病棟の事務スタッフにお声掛けください。種類によっては本館1階医事課でお預りする場合がございます。

※いずれの場合も、お預りから1～2週間の期間をいただきます。

※ご指定の連絡先に担当からご連絡いたします。平日9：30～16：30の時間にお越しください。

4. 出生前遺伝学的検査(NIPT)、羊水染色体検査および遺伝子カウンセリングの料金について

- ・無侵襲的出生前遺伝子検査(NIPT) 120,000円（税込み）
- ・羊水染色体検査 80,000円（税込み）
- ・遺伝子カウンセリング料
 - 初回 11,000円（税込み）（60分）
 - 2回目以降 6,600円（税込み）（30分）
 - ※30分毎に 6,600円（税込み）追加

5. その他

種別	料金
セカンドオピニオン料	30分以内 11,000円（税込み）
	30分超過毎 11,000円（税込み）
乳房外来	1回 2,000円（税込み）
診療録開示手数料	1件 5,500円（税込み）
診療録開示に係るカルテコピー料	カルテ(片面) 22円（税込み）
	カルテ(両面) 44円（税込み）
	電子媒体1枚 3,300円（税込み）
診療録開示に係るレントゲンコピー料	電子媒体1枚 3,300円（税込み）
処方箋紛失時の再発行料	1回 748円（税込み）
付き添い食（小児入院）	1食 737円（税込み）
おむつ代（ベビー用）	1袋 520円（税込み）
マタニティヨガ	初回 1,000円（非課税）
	2回目以降 500円（非課税）

※助産を伴う入院は、消費税は課税されません。

予防接種料金については当院規定により徴収させていただきます。別紙ご参照ください。

コンタクトレンズ検査について

・当院のコンタクトレンズ検査料

○初診の場合（491点） 内訳…初診料 291点 + コンタクトレンズ検査料 1 200点

○再診の場合（276点） 内訳…外来診療料 76点 + コンタクトレンズ検査料 1 200点

※過去にコンタクトレンズ検査料が算定されている場合は、外来診療料を算定させていただきます

・担当医師

久保 夕樹（眼科診療経験 14年）

西田 崇（眼科診療経験 7年）

ご不明な点などございましたら、眼科スタッフまでお気軽にお問い合わせください

各種窓口のご案内

1. 患者相談窓口（総合相談センター）のご案内

当院では患者さんやご家族からの疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等、さまざまな相談に対応する窓口を設置しております。また、医療安全に関することについて医療安全管理者による相談をお受けしております。ご相談のある方は、直接窓口へお越しください。

ご相談内容に関しては、個人情報適切に保護し、相談したことによる不利益を被ることのないよう配慮いたします。

【お問合せ先】本館1階 ⑦地域医療連携室

※受付時間 平日8：30～17：00にお願いいたします
(平日時間外、土日祝日は、救急外来窓口へご相談ください)

2. 禁煙外来について

当院では第2・4火曜日に完全予約制にて禁煙外来の診察を行っていましたが、令和7年4月30日をもって廃止とさせていただきます。

禁煙治療をご希望の方につきましては、適宜、適当な医療機関をご紹介します。主治医もしくは総合相談センターへご相談ください。

昨年の実績について

1. 令和6年1月～令和6年12月の医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術の実績

区分	手術名	件数	区分	手術名	件数
1	ア 頭蓋内腫瘍摘出術等	30	3	カ 食道切除再建術等	1
	イ 黄斑下手術等	65		キ 同種死体腎移植術等	17
	ウ 鼓室形成手術等	25	4	- 胸腔鏡下・腹腔鏡下手術等	826
	エ 肺悪性腫瘍手術等	53		ア 人工関節置換術等	213
	オ 経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術	420		イ 乳児外科施設基準対象手術	0
2	ア 靭帯断裂形成手術等	2	ウ	ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術	116
	イ 水頭症手術等	54		エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)及び体外循環を要する手術
	ウ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	1	経皮的冠動脈形成術		28
	エ 尿道形成手術等	4	急性心筋梗塞に対するもの		8
	オ 角膜移植術	0	不安定狭心症に対するもの		5
	カ 肝切除術等	44	その他のもの		15
	キ 子宮附属器悪性腫瘍手術等	29	オ	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
3	ア 上顎骨形成術等	1		経皮的冠動脈ステント留置術	198
	イ 上顎骨悪性腫瘍手術等	0		急性心筋梗塞に対するもの	46
	ウ バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	2	不安定狭心症に対するもの	26	
	エ 母指化手術等	0	その他のもの	126	
	オ 内反足手術等	0			

2. 大腿骨近位部骨折後48時間以内に手術を実施した年間実績（令和7年1月～令和7年12月）

27件

3. 急性期充実体制加算にかかる当院の体制について

(1) 手術等に係る実績（令和6年4月～令和7年3月）

項目	件数
全身麻酔による手術（2,000件／年以上）	3,804
うち、緊急手術（350件／年以上）	421
悪性腫瘍手術（400件／年以上）	756
腹腔鏡下手術又は胸腔鏡下手術（400件／年以上）	997
心臓カテーテル法による手術（200件／年以上）	688
消化管内視鏡による手術（600件／年以上）	568
化学療法（1,000件／年以上）	1,535
心臓胸部大血管の手術（100件／年以上）	79

(2) 外来化学療法の実施を推進する体制

- 外来腫瘍化学療法診療料1の届出を行っています。
- 当院で化学療法を実施した患者さん全体のうち、外来で化学療法を実施した割合は6割以上です。
令和6年度実績：7割
化学療法を実施した実患者数 1,087人/年 うち、外来で化学療法を実施した実患者数 764人/年

(3) 24時間の救急医療提供

当院は精神科医が速やかに診療に対応できる体制として下記の医療機関と連携しています。

連携保険医療機関名：福岡県立精神医療センター太宰府病院 担当精神科医師 重松 淳哉

項目	件数
救急搬送件数(2,000件/年以上)	6,744
救急搬送患者の入院3日以内における入院精神療法の算定件数(20件/年以上)	22

(4) 入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制

ア 院内迅速対応チームの構成員(救急又は集中治療の経験を有し、所定の研修を修了した者)

- 医師：迎 雅彦、松浦 広英、荒武 憲司、河合 俊輔、大賀 泰寛
- 専任の看護師：研井 礼子、川中 直美、牛島 崇人、中里 さかえ

イ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応状況に関する改善の必要性等について提言するための責任者名：永井 英司

ウ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者に対する対応方法に係るマニュアルを整備し、職員に遵守させています。

エ 病状急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応の改善に関する委員会又は会議の開催日：2024年4月24日、5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月23日

11月27日、12月25日、2025年1月22日、2月26日、3月26日

うち、イの責任者の出席日：2024年4月24日、5月22日、6月26日、8月28日、9月25日、10月23日、11月27日、12月25日、2025年1月22日、2月26日、3月26日

オ 院内講習の開催日：2024年6月4日、8月6日
2024年5月2日～31日、7月2日～31日
2024年7月17日～11月30日、9月27日～12月27日

(5) 外来縮小体制

- 初診に係る選定療養の報告を行って実費を徴収しています。
- 当院は紹介受診重点医療機関です。
- 前年度1年間の紹介割合の実績は110%以上、逆紹介割合の実績は120%以上です

項目	件数
初診の患者数	17,757
再診の患者数	207,837
紹介患者数	15,434
逆紹介患者数	29,031
救急患者数	4,735
紹介割合	113.6%
逆紹介割合	128.7%

(6) 退院に係る状況等

- 一般病棟における平均在院日数は10.5日です。
- 一般病棟の退棟患者(退院患者を含む)に占める、同一の保険医療機関の一般病棟以外の病棟に転棟したものの割合は0割です。
- 入退院支援加算1の届出を行っています。

(7) 禁煙の取り扱い

当院では、健康への影響と防災の面から周辺の道路も含めて敷地内禁煙となっております。

敷地内は高濃度の酸素などが配管されているため、喫煙は固くお断りします。

なお、敷地内にある駐車場の車内でも喫煙はご遠慮ください。ご理解ご協力をお願いいたします。